

安全報告書

2010年(平成22年)版

三陸鉄道株式会社

この報告書は、鉄道事業法に基づき公表するものです。

目次

1.	社長からのメッセージ	1
2.	安全基本方針と安全目標	
	2-1 安全基本方針	2
	2-2 安全目標	2
3.	安全管理	
	3-1 安全管理体制	3
	3-2 安全管理方法	3
4.	安全重点施策	
	4-1 保安・防災対策	4
	4-2 保守作業の合理化	4
	4-3 車両	5
5.	安全対策の実施状況	
	5-1 防災対策	5
	5-2 社員教育	6
	5-3 その他	7
6.	輸送の安全の実態	
	6-1 運転事故等の発生状況	8
	6-2 災害等の発生状況	8
7.	お客様とのコミュニケーション	8

1. 社長からのメッセージ

平素は三陸鉄道をご利用いただき、まことにありがとうございます。

当社の経営理念の第一は安全の確保であります。

平成6年2月22日に南リアス線甫嶺駅付近で発生した突風による脱線事故。三陸鉄道では二度とこのような事故を起こしてはならないと、社員が一丸となって意識改革を行うとともに、組織の改革にも取り組み、安全を最優先する体制を構築してまいりました。

毎年2月22日を「安全を考える日」と定め、事故の反省と教訓を風化させないよう非常呼集訓練等を実施しています。

平成18年10月には安全管理規程を制定するとともに安全統括管理者、運転管理者を選任し安全管理体制を確立し安全の確保に努めています。

これまでの様々な安全に対する取り組みを実施した結果、平成21年度も安全目標としていた「鉄道運転事故ゼロ」を達成することができました。

平成21年11月には「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき、沿線の市町村が中心となって組織する三陸鉄道沿線地域等公共交通活性化協議会によって策定された鉄道事業再構築実施計画が、国土交通大臣の認定を受けることができました。

これによって関係する自治体から鉄道施設等に係る修繕・維持管理費用及び設備投資費用をご負担いただけることになり、より安全で安定した運行を維持することができるようになりました。

三陸鉄道は地域の足としての役割はもとより、年々増加する観光旅行のお客様に対する観光鉄道としての役割も大きくなってきています。こうしたすべてのお客様に安心してご利用いただくために、これからも「安全」を最優先とする意識の向上に努めてまいります。

本報告書は、鉄道事業法第19条の4に基づき、平成21年度に実施した安全確保のための取り組みや鉄道運転事故・輸送障害の発生状況等について報告するものです。

ご一読いただき、ご意見ご感想をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

望月正彦



お座敷車両「さんりく・しおかぜ」



大沢橋梁を渡るレトロ調車両「さんりくしおかぜ」

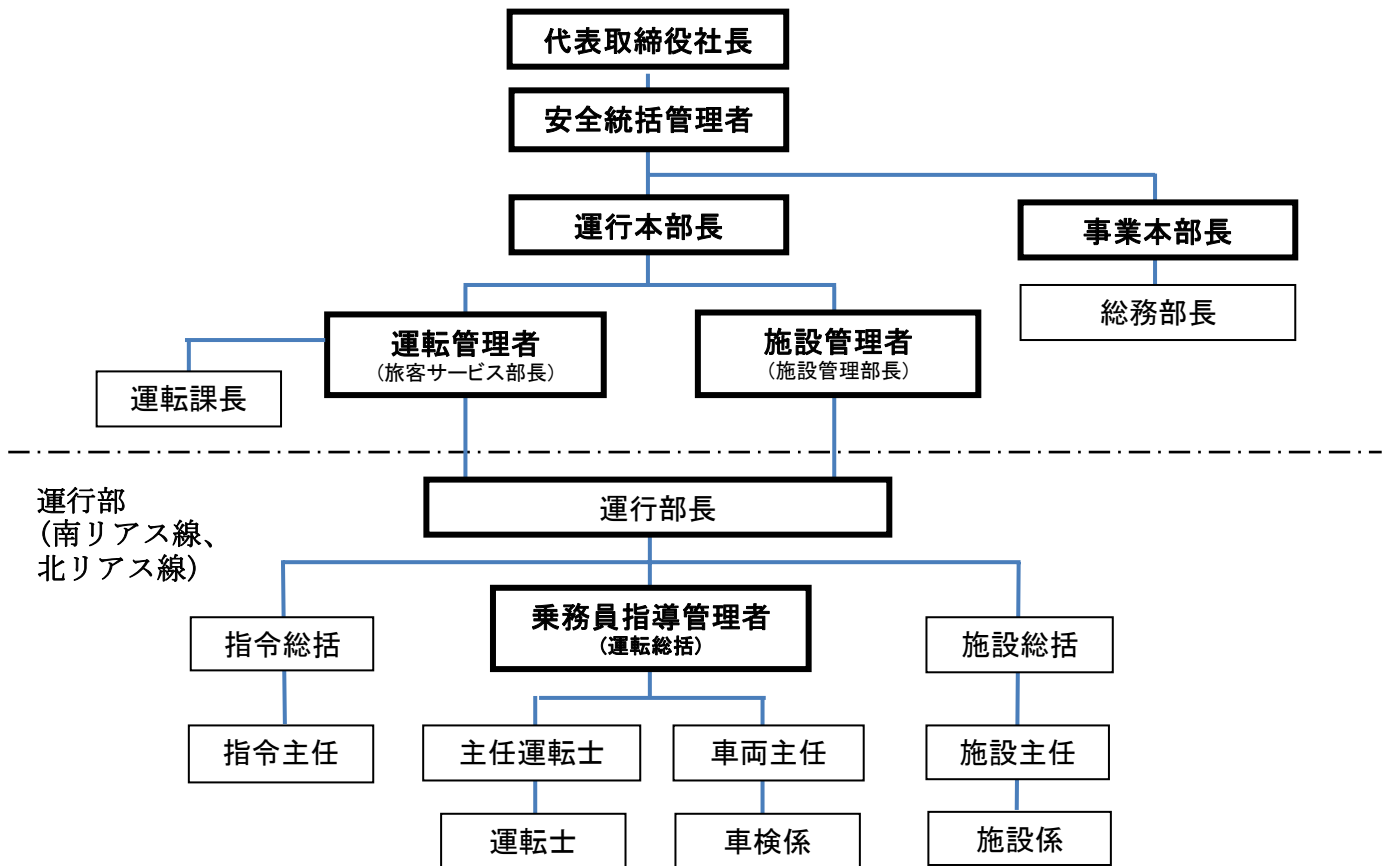
3. 安全管理

3-1 安全管理体制

安全管理規程において、輸送の安全を確保するための社内の体制は安全管理体制図のとおりとなっています。

社長が選任した安全統括管理者のもとに運転管理者並びに安全を確保するための各部門の責任者を定め、その役割や権限等を定めています。

安全管理体制図



3-2 安全管理方法

○ 安全管理委員会

安全管理委員会規則に基づき、社長・安全統括管理者・運転管理者ほか運行の安全に関する社員により構成された安全管理委員会を年に4回（4月、7月、10月、1月）開催します。

○ 安全基本方針の掲出

安全管理規程第2条に規定する安全基本方針を全職場に掲出のうえ、朝礼時に全員で唱和することにより安全意識の徹底を図ります。

○ トップによる現場巡回

社長による全社員の面接を実施します。

実車による異常時訓練、年末年始の安全総点検等において、社長、安全統括管理者等の現場巡回を1年に3回以上実施します。

○ヒヤリハット事例の収集

ヒヤリハット(事故には至らなかったものの危険だと感じた事象)の報告様式を定め、社員からの報告を積極的に収集し安全管理委員会等で改善策の検討を行い事故の未然防止に努めるとともに、安全に対する意識の向上を図ります。

4. 安全重点施策

4-1 保安・防災対策

項目	内容	達成度
橋梁の改修	平成17年度から平成24年度までに、橋梁47箇所での改修工事を実施します。 平成21年度は北リアス線の橋梁3箇所での改修を実施し、安全性を向上させました。(事業費 1,500万円)	80%

施工前



施工後



項目	内容	達成度
施設の健全度調査	南北リアス線の線路設備の健全度調査を実施しました。(事業費 786万円)	100%

4-2 保守作業の合理化

項目	内容	達成度
枕木の改良	平成21年度から平成31年度までに、木製枕木をコンクリート製枕木に交換します。 平成21年度は南リアス線847本、北リアス線954本の枕木の取替えを実施し、安全性を向上させました。(事業費 5,923万円)	9%

施工前



施工後



4-3 車両

項目	内容	達成度
ATS等の改良	平成20年度から平成25年度までに、車両16両のATS(自動列車停止装置)、ブレーキ等を改良します。 平成21年度は3両の制動装置、ATS等の改良を実施し、車両運行の安全性を向上させました。(事業費 1億5100万円)	38%

施工前



施工後



※ 達成度は平成21年度末現在です。

5. 安全対策の実施状況

5-1 防災対策

○ 強風対策

南リアス線4箇所、北リアス線4箇所の合計8箇所の風速計で風速を監視し、瞬間風速20m/s以上で25km/hの徐行運転を行い、瞬間風速25m/s以上で列車の運転を見合わせています。



三杯式風速計と防風柵



風速監視装置

○ 降雨対策

南リアス線2箇所、北リアス線3箇所の合計5箇所の雨量計で時間雨量、連続雨量を監視し、区間ごとに規制値を定め徐行又は運転見合わせを行っています。

河川の増水に対しても基準を設け、列車の安全を確保しています。



雨量計



雨量監視装置

○ 地震対策

南北リアス線各1箇所地震計で揺れの加速度を測定し、40gal以上で運転を見合わせています。
また震度4以上になった場合も運転規制を行っています。



地震計



地震警報器

5-2 社員教育

○ 定例勉強会

年間計画で毎月のテーマを定め、勉強会を実施しています。

○ 異常時対応訓練

1年に1回(主に6月頃)、列車火災、大地震、信号故障等の異常時を想定した実車を使用した訓練を実施しています。

平成21年度は運転中の車両が故障により運転不能となったという想定のもと「伝令法による故障車両救援訓練」を実施しました。

南リアス線(6月25、26日)



北リアス線(6月17～19日実施)



5-3 その他

○ 津波防災マップの掲出

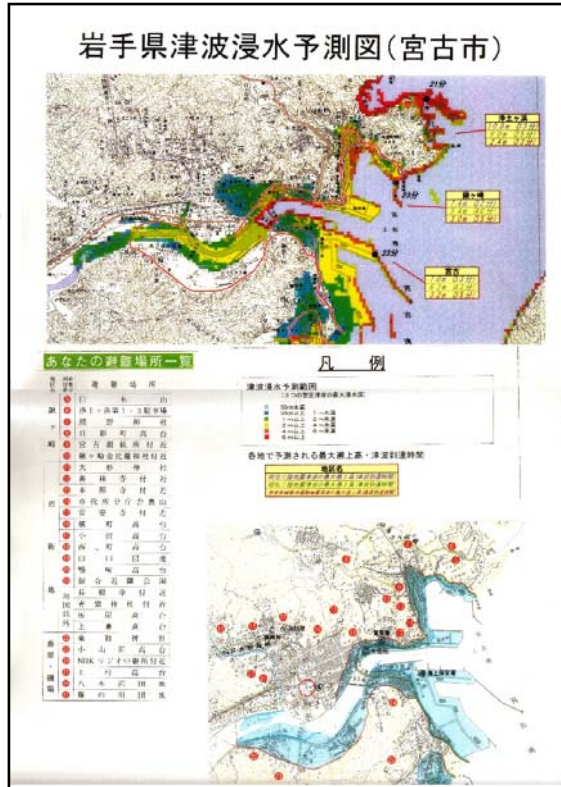
各駅に津波防災マップを掲出し、お客様に津波発生の際の避難箇所等をお知らせしています。

○ こども110番

トラブルに巻き込まれた児童救済のため緊急避難協力所として南リアス線で4駅北リアス線で8駅に「こども110番」を設置しています。



・こども110番

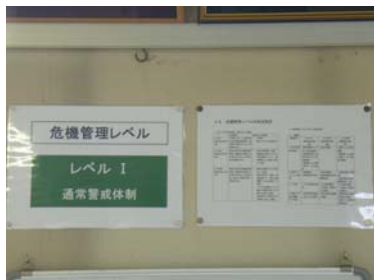


○ 交通安全運動への参加

交通安全運動へ積極的に参加し、駅前などでのPR活動、踏切の安全通行に関する啓発活動などを行っています。

○ テロ対策

- ・ 危機管理レベルを設定し、社内に掲出しています。
- ・ 駅、車内等に不審物発見時の対応チラシを掲出し、お客様に注意を促しています。
- ・ 盛駅、釜石駅、宮古駅、久慈駅に防犯カメラを設置しています。



危機管理レベルの掲出状況



車内チラシ掲出状況



防犯カメラ設置状況

6. 輸送の安全の実態

6-1 運転事故等の発生状況

○ 運転事故(列車火災、脱線等)の発生件数	0件
○ インシデント(事故の恐れがある状況)の発生件数	0件
○ 輸送障害(列車の運休又は30分以上の遅延)の発生件数	
・ 車両又は設備が原因のもの	5件
・ 大雨、強風、地震が原因のもの	26件
・ 列車支障	1件

6-2 災害等の発生状況

10月8日に接近した台風により被害を受けた法面の復旧工事を行いました。
(被害額 150万円)

7. お客様とのコミュニケーション

- 当社ホームページにおいて会社概要、列車時刻、運賃などをご案内しています。
ホームページアドレス <http://www.sanrikutetsudou.com>
- 南リアス線、盛駅、釜石駅、北リアス線、宮古駅、久慈駅に声の箱を設置して、お客様からのご意見を頂戴しています。

平成22年8月
三陸鉄道株式会社
〒027-0076
岩手県宮古市栄町4番地
TEL 0193-62-8900
FAX 0193-63-2611